



平成 30 年 2 月 14 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ス カ ラ
代 表 者 名 代表取締役社長 椰 野 憲 克
(東 証 一 部 ・ コ ー ド 4 8 4 5)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 木 下 朝 太 郎
(T E L 0 3 - 6 4 1 8 - 3 8 9 8)

株式会社レオコネクトの株式取得（子会社化）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、以下のとおり、株式会社光通信（本社：東京都豊島区、代表者：玉村剛史、以下「光通信」）の子会社である株式会社レオコネクト（本社：東京都豊島区、代表者：萩森 まさ子、以下「レオコネクト」）の発行済株式の 66.0%を取得し、子会社化することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 株式取得の理由

当社は、インターネット及び電話、FAX、紙媒体を含むマルチチャネルにおける企業と個人のコミュニケーションをサポートする様々な SaaS/ASP サービスを提供しており、当該 SaaS/ASP サービスの中にはコールセンター運営事業者やキャンペーンオーナーにご利用頂いているものがあります。コールセンター業界では昨今の IT 技術の発展により、AI を駆使したチャットボットサービス、ビッグデータである VOC (Voice of Customer) データを活用した業務コンサルティングなど多種多様な新たなニーズが強まっており、当社はそれらを事業成長の機会と捉え、電話の自動音声応答サービスや、オペレータによる有人チャットサービス、チャットボットサービスを始めとしたコールセンター関連サービスを強化して参りました。

一方、レオコネクトは、光通信が前述のコールセンター業界動向を踏まえ、光通信グループ各社のコールセンター業務を統括している光通信のカスタマーオペレーション本部を事業化するために平成 29 年 12 月 1 日に設立された会社であり、これまで長年に渡り光通信グループ各社が有するブランド・商材におけるカスタマーサポートコンサルティングを担い、膨大な案件数、業務を通じて蓄積してきた独自のノウハウを従来のサービス提供先であった光通信グループ各社の枠を超えて外部顧客獲得に向けて業務を開始しました。

当社では、当社サービスを実際にご使用いただく運用担当者のご意見をできるだけサービス開発に反映することにより、長く継続的にご利用いただき、また同業他社への横展開可能なサービス創りをしております。そのため、当社の有する IVR 等のコールセンター関連 IT サービスとレオコネクトの有するカスタマーサポートコンサルティングの連携は、お客様からの問合せや困り

ごとを解決する顧客対応窓口の対応品質を向上し、解約抑止や追加商品の購入につなげる提案をするなど、提案型のインバウンドセンター（※）へと発展させることができることに加え、これまで以上にコールセンターの深いご要望やご意見の汲み取りが可能になることでサービス開発に役立てられる等、高い事業シナジーが得られ当社の更なる競争力強化に繋がると判断し、本子会社化を決定致しました。

なお、レオコネクトが光通信グループ各社のコールセンター業務を受託し、また光通信グループ各社以外からの業務も受託することで更なるノウハウを蓄積し、光通信のレオコネクトへの支援意欲およびレオコネクトの士気の向上を図ることでレオコネクトの企業価値を向上させることを目的に、当社は光通信に対して新株予約権を発行しております（本日付けの適時開示「第三者割当による第12回新株予約権の発行に関するお知らせ」をご確認下さい）。当該新株予約権の発行はレオコネクトの業績拡大に寄与し、延いては当社の企業価値向上に資すると共に中長期的な観点から当社の株主の皆様利益につながるものと考えております。

（※）インバウンドセンターとは、お客様からのご連絡による照会や要望などに応える業務であり、お客様情報やFAQ、商品データベース等を参照し、必要に応じて関連部門と連携してスピーディーかつお客様の状況に見合った対応を行うコールセンターを言います。

2. 異動する子会社の概要

(1) 名 称	株式会社レオコネクト	
(2) 所 在 地	東京都豊島区西池袋二丁目41番8号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 萩森 まさ子	
(4) 事 業 内 容	コールセンター運営に係るカスタマーサポートコンサルティング	
(5) 資 本 金	51,000 千円	
(6) 設 立 年 月 日	平成29年12月1日	
(7) 大株主及び持株比率	株式会社光通信 80.0%	
(8) 上 場 会 社 と 当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。
	人 的 関 係	該当事項はありません。
	取 引 関 係	該当事項はありません。
(9) 当該会社の直近3年間の財政状態及び経営成績	平成29年12月末現在の財政状態は純資産54百万円、総資産261百万円です。 設立後間もないため、経営成績はありません。	

3. 株式取得の相手先の概要

(1) 名 称	株式会社光通信
(2) 所 在 地	東京都豊島区西池袋一丁目4番10号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 玉村剛史
(4) 事 業 内 容	法人事業、SHOP事業、保険事業
(5) 資 本 金	54,259 百万円
(6) 設 立 年 月 日	昭和63年2月

(7) 発行済株式数	47,749,642 株 (平成 29 年 9 月末日現在)		
(8) 決算期	3 月末日		
(9) 従業員数	10,463 名 (連結 平成 29 年 3 月末日現在)		
(10) 主要取引先	ソフトバンクモバイル株式会社、KDDI 株式会社 シャープビジネスソリューション株式会社 他		
(11) 主要取引銀行	みずほ銀行 他		
(12) 大株主及び持株比率 (平成 29 年 9 月末日現在)	有限会社光パワー 41.34% 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 2.96% 株式会社光通信 2.95% 重田 康光 2.51% 玉村 剛志 2.39% 有限会社テツ 2.30% 有限会社マサ 2.30% 有限会社ミツ 2.30% 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 1.80% JP MORGAN CHASE BANK 385174 1.22%		
(13) 当事会社間の関係			
	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	該当事項はありません。※	
	関連当事者への 該当状況	該当事項はありません。	
(14) 最近 3 年間の経営成績及び財政状態			
決算期	平成 27 年 3 月期	平成 28 年 3 月期	平成 29 年 3 月期
連結純資産	175,511 百万円	180,340 百万円	180,459 百万円
連結総資産	393,352 百万円	410,352 百万円	511,487 百万円
1 株当たり連結純資産 (円)	3,488.34 円	3,588.96 円	3,896.35 円
連結売上高	562,509 百万円	574,523 百万円	428,913 百万円
連結営業利益	32,084 百万円	37,483 百万円	41,561 百万円
連結経常利益	36,551 百万円	38,356 百万円	-
連結当期純利益	20,763 百万円	25,021 百万円	39,034 百万円
1 株当たり連結当期純利益(円)	450.27 円	538.13 円	840.12 円
1 株当たり配当金 (円)	160.00 円	186.00 円	240.00 円

※IT 業界の動向について幅広く情報交換を行っています。

(注) 同社は、平成 29 年 3 月期より IFRS を適用しておりますため、平成 27 年 3 月期、平成 28 年 3 月期は日本会計基準、平成 29 年 3 月期は IFRS により記載しております。

4. 株式取得数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株（議決権の数：0個）
(2) 取得株式数	674株（議決権所有割合：66.0%）
(3) 取得価額	67百万円（概算額）
(4) 異動後の所有株式数	674株（議決権の数：674個）

5. 日程

(1) 取締役会決議日	平成30年2月14日
(2) 契約締結日	平成30年2月14日
(3) 株式譲渡実行日	平成30年2月28日（予定）

6. 今後の見通し

本件株式取得により、レオコネクトは当社の連結子会社となる予定であります。本子会社化に伴い、平成30年6月期の連結業績に与える影響は売上高で900百万円（平成30年3月から6月）を見込んでおりますが、営業利益、税引き前利益、当期利益に関しましては、平成29年12月1日の設立後間もない為、見込んでおりません。詳細につきましては、本日開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

以上